

元吉原中学校CS（コミュニティ・スクール）だより

ちょう

おん

潮音

目指す子供像

挑戦する子

No. 3



令和8年3月18日

地域や保護者の皆さまの温かいサポートのおかげで、子どもたちはさまざまな体験や学びを重ねながら成長してきました。地域と学校がつながりながら、子どもたちを育てる学校づくりが形になってきています。第79期卒業生49人が、まもなく本校から巣立っていきます。中学校を引っ張り、地域のボランティア活動にも積極的に参加してくれた3年生。新しい環境でも、またここ元吉原地区でも、自分らしさを忘れず活躍してくれることを願っています。



地域とつながる会（1月16日）

「元吉原が人と人とのつながりが深い地域となるように」という目的で学校運営協議会委員、消防第10分団、町内会長、民生児童委員、鈴川区管理委員など様々な世代の方をお招きし、生徒会主催の『地域とつながる会』でグループに分かれ郷土かるた大会を行いました。

「学年を超えて仲が良く下級生に優しい。」「全員が札を取れるよう互いを思いやっている様子に感心した。」など地域の方から感想をいただきました。



ポスター作製
美術部 中村さん

子どもたちのアイディアをもとに、地域の皆さんと中学生と一緒に活動する機会がもっと増えるよう、これからもサポートしていきます。

保健体育 心肺蘇生法（1月22日）

2年生の保健体育の授業で心肺蘇生法の実技講習を行い、学校運営協議会委員の芳賀さん、消防第10分団の皆さん、地元にお住まいの救命救急士の方に来ていただきました。

生徒はゲストティーチャーの方々の経験や、仕事を通して学んだことなどに真剣に耳を傾け、実技に率先して何度も挑戦したり、生徒同士でも改善点を教え合ったり、積極的に取り組む様子が見られました。



交通安全・青少年育成凧揚げ大会（1月25日）



今年の大凧も美術部に絵付けをお願いし、凧作り名人のご指導のもと、糸目付けや揚げ方をボランティアの生徒たちで学びました。

大会当日は、大凧を支えタイミングを図り空に送り出すグループ、糸を繰り出すグループ、その他役割を考え臨機応変に動くグループに分かれ、大凧を空高く舞い上がらせました。当日サポートして下さった地域の皆さまありがとうございました。

職場体験（２月３日、４日）

鉄道会社、郵便局、広告出版業、建設業、コンビニエンスストア、飲食店、小売店、アパレル業、リサイクル業、紙加工品製造業、デイサービスセンター、保育園、幼稚園、自動車ディーラー、自動車整備工場、新聞社など、多くの事業所のご協力のもと職場体験を実施しました。

地域を学びのフィールドにして、社会の仕組みや働くことの大切さを学び、子どもたちが成長する絶好の機会となりました。また、普段なかなか接する機会のない大人の方々をロールモデルとして、働く姿に触れながら、仕事に対する姿勢や考え方を学ぶことができました。

事業所の皆さまには、お忙しい中職場体験へのご協力に心より感謝申し上げます。

元吉原小中合同学校運営協議会（２月１９日）

今年度最後の学校運営協議会が、本校を会場として小中合同で開かれました。令和７年度を振り返りながら、それぞれの校長より令和８年度の学校経営方針が発表されました。委員からは積極的に質問や意見が交わされ、審議を経て来年度の学校経営方針が承認されました。

今年度をもって鷺坂様、PTA会長の加藤様のご退任されます。本校の教育活動へのご尽力に心より感謝申し上げます。



教育講演会（２月２７日）



本校の卒業生で、元NHK静岡放送局キャスター、現在は司会を始め講演や研修で講師をお務めの渡辺弥生さんに「今より輝く心と言葉の使い方」という演題で教育講演会をしていただきました。

多くの地域の方もご来場して下さる中、普段から言葉の大切さを意識し、積極的な言葉や高い目標を口に出すことで目標達成につながることを、笑顔とありがとうの言葉で、自分も含め周りも輝かせることができるとお話ししてくださいました。

元吉原地区福祉推進会ふれあい配食（３月１日）

元吉原地区福祉推進会の方々と今年度２回目のふれあい配食の活動をしました。自分の住んでいる地区に住む希望したお年寄りのお宅に、小学生が書いてくれた手紙とお弁当をもって委員の方と訪問しました。



『ふれあい協力員（CSボランティア）』のお願い

教育活動を充実させるため、学校での様々な活動、校内整備、地域行事での中学生のサポートなど、いろいろな分野や場面で、生徒とかわかっていただけたらと思います。

保護者や地域の方々でご登録いただける場合や、ご質問などありましたら、元吉原中学校CSD仲神までご連絡ください。



電話：33-0065 担当：CSD 仲神千静子